

改革！

理学療法士のこれからの働き方セミナー ～介護医療院で理学療法士に求められる4つの役割～

平成30年度介護報酬改定において、新たな介護保険施設として、介護医療院が新設されました。今後、介護医療院への転換・増加が予測されるなかで、施設の人員基準におけるリハビリテーション職の配置は「適当数」となっており、その役割なども確立されていませんでした。

本セミナーでは、介護医療院・療養病床において求められる理学療法士の専門性や役割について学ぶことを目的としています。

<日時> 2019年3月17日(日) 13:30～16:05 (受付開始13:00～)

<場所> TKPガーデンシティPREMIUM田町

東京都港区芝浦3丁目1-2 1

msb Tamachi 田町ステーションタワーS4階 (田町駅徒歩1分)

<対象> 介護医療院・療養病床で働くまたは興味のある
理学療法士(会員のみ) 先着200名

プログラム

- 13:30～13:40 **開会挨拶**
森本 榮 (公益社団法人日本理学療法士協会副会長)
- 13:40～14:20 **基調講演「介護医療院の概要と理学療法士に期待すること」**
鈴木龍太 氏 (日本介護医療院協会会長)
- 14:30～15:30 **シンポジウム「介護医療院で求められる理学療法士の働き方」**
座長：松井一人 (公益社団法人日本理学療法士協会常務理事)
「状態に応じた多様な理学療法の実施」
亀田さゆみ (介護医療院にしまるポツ)
「多職種との協働における理学療法士の役割」
米沢昌宏 (鶴巻温泉病院)
「看取りに対応する理学療法士」
大崎志帆 (介護医療院恵寿鳩ヶ丘)
「生活の場を理解した理学療法士の関わり」
嶋崎真治 (永生病院)
- 15:30～16:00 **意見交換・質疑応答**
- 16:00～16:05 **閉会挨拶**

**参加費
無料**

主催：公益社団法人日本理学療法士協会

申し込み先

<https://questant.jp/q/kaigoiryoin>

申込用QRコード↓



※本研修では、生涯学習ポイントの付与はありません。

【お問い合わせ】公益社団法人日本理学療法士協会 事務局機能課 吉倉・森

E-mail:shokuno@japanpt.or.jp

改革!

理学療法士のこれからの働き方セミナー ～介護老人保健施設で求められる理学療法士の役割～

介護老人保健施設（以下、老健）は、「在宅支援・在宅復帰」が求められています。平成30年度の介護報酬改定では、算定要件に「リハ専門職の配置割合」や「充実したリハ」などが入り、益々老健におけるリハビリテーションが期待されています。そこで、理学療法士も「在宅支援・在宅復帰」の流れを理解し、求められる役割を果たす必要があります。

本セミナーでは、老健において求められる理学療法士の専門性、役割について学ぶことを目的としています。

<日時> 2019年3月24日(日) 13:30～16:05 (受付開始13:00～)

<場所> イイノホール&カンファレンスセンター RoomA
東京都千代田区内幸町2丁目1-1 飯野ビルディング (霞が関駅直結)

<対象> 老健で働くまたは興味のある理学療法士(会員のみ)
先着200名

プログラム

- 13:30～13:40 **開会挨拶**
森本 榮 (公益社団法人日本理学療法士協会副会長)
- 13:40～14:20 **基調講演「介護報酬改定の影響と理学療法士に期待すること」**
折茂 賢一郎 氏 (公益社団法人全国老人保健施設協会副会長)
- 14:30～15:30 **シンポジウム「老健で求められる理学療法士の働き方」**
座長：松井 一人 (公益社団法人日本理学療法士協会常務理事)
「老健での理学療法士のケースマネジメント」
及川 真人 (東八幡平病院)
「多様なアプローチで生活機能を高める理学療法士」
藤田 達也 (介護老人保健施設おゆみの)
「地域との繋ぎ役を担う理学療法士」
新谷 和文 (介護老人保健施設うらく)
「老健で働く理学療法士に求められる資質」
渡邊 要一 (永生会法人本部)
- 15:30～16:00 **意見交換・質疑応答**
- 16:00～16:05 **閉会挨拶**

**参加費
無料**

主催：公益社団法人日本理学療法士協会

申し込み先

<https://questant.jp/q/rouken>

申込用QRコード↓



※本研修では、生涯学習ポイントの付与はありません。

【お問い合わせ】公益社団法人日本理学療法士協会 事務局機能課 吉倉・森

E-mail:shokuno@japanpt.or.jp